

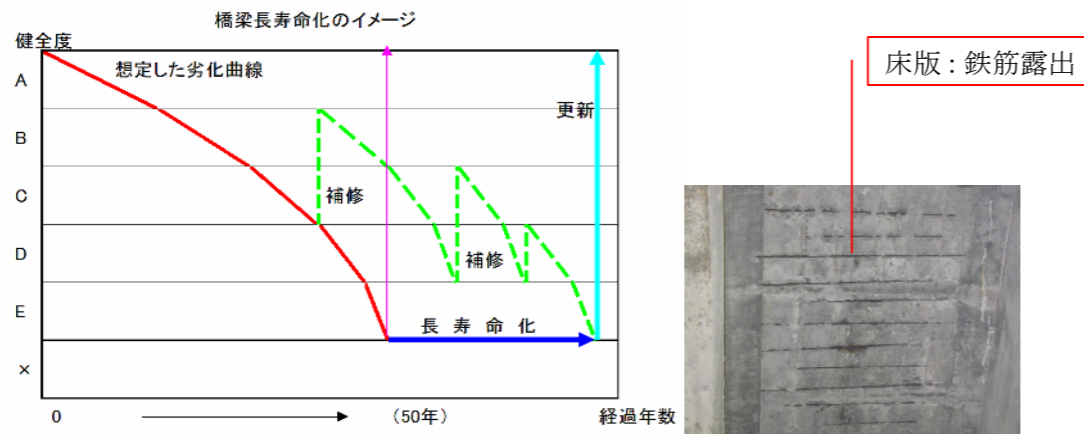
# 摂津市 橋梁長寿命化修繕計画

摂津市が管理する橋梁について、橋梁長寿命化修繕計画を策定しました。

## ◎ 橋梁長寿命化修繕計画策定の背景

橋梁は長い年月の間、人や自動車の荷重を受け続けます（外力による劣化・損傷）。また、コンクリートや鉄の塗装なども永久ではなく、自然に劣化してゆくものです（経年劣化）。

摂津市の橋梁の多くは昭和40、50年代に建設されており、このまま放置すると橋梁の架替・補修の時期が集中し多大な費用がかかることが予想されます。そのため、早期の段階で補修し、橋梁の架替が一時期に集中しないように橋梁の長寿命化を図ることで架替・補修の費用を縮減する必要があります。そこで、橋梁の点検や補修の時期などについて方針を定めたものが橋梁長寿命化修繕計画です。



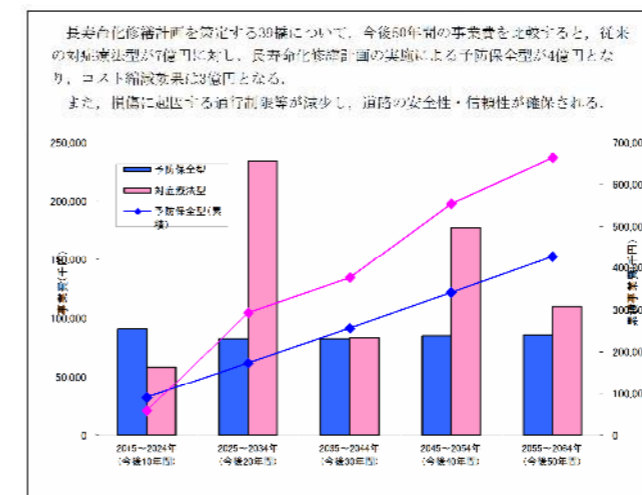
## ◎ 橋梁の管理方法

摂津市では、長寿命化修繕計画の対象橋梁に対して、5年ごとに点検を実施していき、点検結果をもとに、計画的に補修を実施していきます。

また、長寿命化修繕計画の対象とならなかった橋梁についても、当然事故等につながる損傷が発生する危険性がありますので、日常の道路パトロール時において点検を実施して損傷の早期発見に努めております。さらに、詳細な点検の実施を検討していきます。

## ◎ 長寿命化修繕計画による効果

今までの対処療法型から予防保全型に転換することで計画的かつ予防的な修繕を行うことができ、今後50年で約3億円の維持更新費用の縮減を見込んでおります。さらに年度ごとの維持更新費用を平準化することができます。



対処療法型：約7億円  
↓  
予防保全型：約4億円  
今後50年間で、約3億円の維持更新費用の縮減が期待できます。

## ◎ 橋梁長寿命化修繕計画について

摂津市では、昭和40年以降から橋の建設がはじまっており、このまま推移すれば20年後には竣工後50年を超える橋梁の高齢化が急速に進行します。また、橋のおかれる環境も近年の交通量の増加や車両の大型化により日々厳しいものとなっています。

そこで、従来の損傷が大きくなってから対策を行う「対処療法型」ではなく、損傷が大きくなるまでに予防的に補修を行う「予防保全型」へと転換を図り、市民の皆さんが生活する上で、大切な道路交通の安全の確保を目的とし、「道路橋の長寿命化修繕計画」を策定しました。

## ◎ 橋梁長寿命化修繕計画の対象とする橋梁

摂津市では、管理橋梁169橋のうち主要な橋梁39橋を選定し長寿命化修繕計画を策定しました。これらの橋梁の選定には次のような条件で選定しました。

- ・地域緊急交通路、避難路に指定されている道路に架かる橋梁
- ・市幹線道路に架かる橋梁
- ・橋梁のコンクリートの落下等で市民に被害が出る橋梁
- ・比較的大規模な10m以上の橋梁

## ◎ 今後の事業予定について

今後は、長寿命化修繕計画に基づいて点検・補修を実施していきます。平成25年度に1橋の補修を実施し、平成27年度から順次補修を実施していく予定です。

また、橋梁の耐震化も補修工事と併せて実施していく予定です。

## ◎ 意見聴取した学識経験者

立命館大学総合理工学院理工学部

都市システム工学科

野阪克義 准教授